

(様式第7号)

令和2年度 年度評価表

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市西市民プラザ		
指定管理者	特定非営利活動法人まちづくりサポートクラブ		
設置目的	市民、団体の多様な交流と市民活動等による社会参加の促進を図り、もって魅力ある地域社会の発展に寄与するため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
所管課	市民文化環境部人権啓発・地域づくり室地域づくり支援課		

2 利用状況等の推移

	令和元年度	令和2年度	年度	年度	年度
利用者数(人)	82,340	48,628			
利用料金(円)	6,954,675	4,481,410			
指定管理料(円)	25,870,000	28,057,000			

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
利用人数	年間10万人以上	10万人	48,628人	49%
平均稼働率	年間25%以上	25%	22.9%	92%
自主事業の実施件数	年間24件以上	100件	90件	90%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	4,481,410	人件費	20,185,512
指定管理料	28,057,000	維持管理費	13,971,037
事業収入	896,288	事業費	0
その他	743,934	その他	0
合計	34,178,632	合計	34,156,549
差額			22,083

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	各項目とも目標を下回っている。コロナ禍の影響が大きく、利用促進ができない状況でありやむを得ない。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	田辺城まつりや夜の市、ちゃったまつり前夜祭、クルーズ客船の寄港といった、施設を会場とするイベントが全て中止となり、商店街イベント等の地域活動も自粛が続いた。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	コロナ禍の制約の中ではあったが、子育て支援事業や、FMまいづるとの連携による情報発信を模索する等、ネットワークの強化を図り、行政や企業、地域団体、地域人材の中間支援に取り組む努力をされている。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	緊急事態宣言による自粛期間がある中、計画を見直しながら例年に近い90回の自主事業を実施された。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	コロナ禍の影響により、利用者数は大きく減少したが、利用率は小幅な減少にとどまっている。利用可能期間中は、定期利用者による利用等があったと思われる。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	コロナ禍の影響もあり、広く声を聞くことが難しい状況であったが、アンケートでは、概ね満足されている結果が得られている。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	利用者からの意見・要望・苦情などを窓口や電話等で把握し、職員間で共有されるとともに、迅速な対応をされている。

利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	対応はされていると考える。ただ、駐車場不足や備品の老朽化等、指定管理者だけでは解決が困難な問題もある。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	LED化の推進、利用者にも使用後の消灯徹底を呼び掛けるなど節電に努力している。コロナ禍で利用料収入が減少する中、施設修繕も最低限にとどめる等努力された。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	数社から見積もりを入手し業者を選定する等取り組まれている。
収入増加のための取組が行われたか	○	自主事業の継続実施により収入増加の取組をされているが、新たなイベント等の企画はコロナ禍によりできない状況にあった。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	業務に応じた適切な人員配置が行われている。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	定期的に職員研修を行う等、職員能力の向上に努めている。
施設の平等な利用が行われたか	○	適切に行われていた。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
情報の公開が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
収支状況や会計処理が適切か	○	適切に行われていた。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に行われていた。
危機管理、安全対策などは十分か	○	想定される災害等に対しマニュアルを作成しているほか、年2回防災訓練を実施している。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適切に行われていた。
(5) その他コメント		
サービス向上		コロナ禍の影響がある中であつたが、適切に感染対策を取りながら運営されていた。季節ごとにふれあい広場をデコレーションされる等、市民が立ち寄る雰囲気作りに努めている。課題の駐車場については、周辺の違法駐車対策にも気を配り努力している。職員の服装や接客態度も良好である。
経費削減		こまめな消灯や外部照明のLED化等による節電やDIY等により経費の節減を行っている。
施設の維持・管理		施設は常日頃からとても清潔に保たれている。老朽化により施設の不具合が発生しているが、問題個所の発見に努め、市と連絡を取り合っている。簡易な修繕は、DIYで職員が実施している。

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	3.16点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	<p>利用状況もよく、よく管理されている。</p> <p>コロナ禍で黒字を確保したことは評価できるが、利用者からの苦情内容が職員の接遇や備品に関するものなので気になる。</p> <p>オープンスペースの利用が再開されることを願っている。</p>	

《参考》 過年度の評価点

令和元年度	年度	年度	年度	平均
3.33点				3.33点